

たかしま青年大活躍
主管地三冠達成！

8月28日・29日の2日間、高島市で第59回滋賀県青年大会が開催され、県内各地から717人の青年が集まりました。高島市からは、237人が出場し、練習の成果を十二分に発揮し、体育の部・文化の部・総合の部すべて優勝という素晴らしい成績を収められました。大会翌日、市役所に結果報告に来られた高島選手団長の古川彩子さんは「史上初の主管地での三冠達成という素晴らしい結果が得られたこのときに、団長という立場にいられたことを大変誇りに思います」と興奮冷めやらぬ様子で語ってくれました。

11月に東京で行われる全国青年大会への切符を手にされたのは、次の方々です。
(青少年育成室)

【体育の部】(以下敬称略)

バレーボール女子：奏
バスケットボール女子：ピボッツ
卓球(個人女子)：兵藤渚
柔道(個人)：佐倉佑弥
剣道(団体男子)：菖蒲会
剣道(個人男子)：清水健吾
ボウリング(女子)：高島市A
ボウリング(混合)：高島市A
フットサル：Mr. T I R E D

【文化の部】

演劇：劇団EXPRESS
郷土芸能・創作芸能：朽木太鼓
意見発表：吉里仁臣
美術展(写真)：坂井田智宏
生活文化展(室内装飾品)：住友智香子
生活文化展(日常生活用具)：桂田孝太

ゆめ半島千葉国体での活躍期待

9月25日から10月5日にかけて千葉県内で開催されている第65回国民体育大会 ゆめ半島国体に高島市から7競技26人が選手や役員として出場されます。(市民スポーツ課)

○セーリング(以下敬称略)

伊勢田 愛(パイレーツハーバー)

○ボート

墨友 里菜(龍谷大4年) ※今津中学出身
村上 悠介(高島高3年)
小堀 尚樹(高島高3年)
飯古 祐勝(高島高3年)
藤原 伸次(高島高3年)
久保 良輔(高島高3年)
岡本 匡由(高島高2年)

○ウエイトリフティング

堀内 康晴(安曇川高教諭)
西村 圭陽(安曇川高3年)
中村 友昭(安曇川高2年)
真鍋 武偉(安曇川高2年)

○陸上競技

清水 陽介(高島高3年)
保木 翔太(高島高3年)
斉藤希望花(高島高3年)
枝 聖香(高島高2年)
堀田 百恵(今津中3年)

○クレー射撃

小川太賀司(小川農園)

○銃剣道

足立 健児(陸上自衛隊)
魚住 隆之(陸上自衛隊)
小野 建治(陸上自衛隊)
小林 久真(日本興亜損害保険株)
宮内 駿(安曇川高3年)
宮内 英至(安曇川高1年)
平田 悠朗(安曇川高1年)

○高校野球

吉田 健吾(北大津高3年)
※安曇川中学出身



福祉後見サポートセンター設置運営事業補助

高島市成年後見サポートセンター設立を支援

成年後見制度とは、認知症高齢者・知的障害者・精神障害者など精神上的の障がいによって、判断能力の十分でない方が一方的に自分に不利な契約を結ばないように、一定の決められた人が、本人の十分な判断能力を補い、保護する制度です。

市内には身寄りのない方などの成年後見制度の受け皿がなく、市外の機関に成年後見人等をお願いしている状況であることから、社会福祉協議会が主体として行う「成年後見サポートセンター」の設置運営事業に対し、支援しています。

高島市成年後見サポートセンターは、平成22年8月に、弁護士・司法書士・社会福祉士・医療機関・福祉施設・社会福祉協議会・行政等の関係機関が参画して運営委員会を組織し、設立されました。

高島市成年後見サポートセンターでは、今後、広く一般市民の方に対して、成年後見制度を理解していただくための広報・啓発活動や研修会が行われます。



▲ 高島市成年後見サポートセンター【第1回運営委員会】の様子

高島市成年後見サポートセンター
設立記念フォーラム

▼日時 10月24日(日)
13時30分～16時30分

▼場所

新旭公民館 大ホール

▼テーマ

「自分の明日を託せる人はだれですか？」

▼内容

○基調講演

「成年後見制度の賢い利用方法」

○パネルディスカッション

「高島市の成年後見制度を考える」

関 社会福祉課 ☎(0575) 81200

市長の手帳

高島の生命線
「国道161号バイパス」の早期
完全整備をめざします！！



国道161号は、当市にとっての大動脈であり、近畿や北陸との経済・産業・文化の交流には欠くことの出来ない基幹道路です。

平成7年に地域高規格道路(琵琶湖西縦貫道)と指定され、以降、バイパス等の整備が進められてきています。現在は、西大津バイパスの4車線化や小松拡幅を含む志賀バイパスの2期整備、湖北バイパス第4工区の整備が進行中です。

しかし、市内の安曇川地区の区間については一向に事業化されず、唯一、県道・市道との平面交差が残ることから交通事故が多発し、死亡事故も発生しています。

また、週末の午後にお

ける恒常的な渋滞に加え、夏場の水泳シーズンや冬のスキーシーズンには、それを上回る渋滞で悩まされているのが現状です。

こうした状況を早期に改善することにより時間的距離を縮め、人の交流や物の流通を増進させることにより、高島地域の活力あるまちづくりを更に進めることができます。また、防災面からも、琵琶



国土交通省への要望活動

湖西部における地震発生確率が高いことから、災害時の緊急輸送を確保することができます。

高島市の生命線ともいえる国道161号バイパスの早期完全整備を実現させるため、この度、国土交通省副大臣ならびに民主党副幹事長に面会し、要望活動を行いました。

市民の皆さんの大切な命を守り、より安全に、そして安心して暮らしていただけるように、今後も繰り返し、力強く要望活動に取り組んでまいります。

★私へのお手紙は、お返事させていただきますので、必ずお名前と住所をお書きくださいますようお願いいたします。